

# 原価の見える化と製品開発における コストマネジメント実践講座

～実践的な予算管理、統計を用いた見積手法～

【LIVE配信】

- ◆日時: 2026年03月25日(水) 10:00～16:30
- ◆会場: 自宅や職場など世界中どこでも受講可
- ◆聴講料: 1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき**46,200円(税込)**
- ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で55,000円(税込))**

## セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

### ●講師:(株)プリベクト 代表取締役 北山 一真 氏

当講義においては、設計者が適切な原価意識を持つために何が必要か。原価の可視化のあり方、データやシステムのあり方について解説します。そして、そのデータを用いて、設計の上流段階／詳細設計段階／案件終了時など、どのようにコストマネジメントを推進すべきか、原価企画などについて解説します。品質とコストのバランスを判断するのは非常に難しいですが、コストテーブル／Cost-BOMの整備により、プロダクト損益が見える化し、適切な意思決定が行える環境を構築する必要があります。実践的な予算管理、統計を用いた見積手法など、設計と原価が融合した姿の道筋について学んでください。

#### 1. ムダな「原価管理」の取り組み

- 1-1 属人的で根拠が残っていない原価管理
- 1-2 案件横断で振り回りできないExcel管理
- 1-3 調達や原価部門に依存した見積管理
- 1-4 原価情報を設計に開示していない閉鎖的な管理

#### 2. 「原価改革」の失敗例

- 2-1 実績収集を細かくするだけで現場に負担増の改革
- 2-2 営業・設計などの部門はザルのままの改革
- 2-3 原価部門のフォローを厳しくしただけの改革
- 2-4 予算超過時に懲罰ルールだけを取り入れた改革
- 2-5 PLMやBOMと連動しないシステム改革

#### 3. なぜ設計段階の原価管理は難しいのか？

- 3-1 原価の見える化がなぜ難しいのか
- 3-2 見積精度向上がなぜ難しいのか
- 3-3 設計者は原価が嫌い

#### 4. 原価改革の方向性を理解する

- 4-1 基本となる3つのプロセス
- 4-2 原価と利益の正しい認識
- 4-3 企画量産系と個別受注系の原価管理の方向性

#### 5. 原価の見える化とコストテーブルの整備

- 5-1 設計段階での原価データの整備
- 5-2 ロスコストの見える化が重要

- 5-3 適切なコストテーブルで設計者の意識が激変する

#### 6. 改革1: 見積精度向上を実行する

- 6-1 属人的な勘見積からの脱却
- 6-2 原価情報を適切に共有し意識変革を促す
- 6-3 統計的コストテーブルを整備する
- 6-4 設計諸元と原価を統計的に分析する
- 6-5 設計見積・調達査定・予算立案に活用できるコストテーブル

#### 7. 改革2: 予算のあり方を再考する

- 7-1 適切な予算とはなにか？
- 7-2 改善アクションプランとリスクの考え方
- 7-3 受注可否判断・開発Go/NoGo判断を良くする

#### 8. 改革3: 原価フォローと振り返りを徹底する

- 8-1 原価の番人を置く
- 8-2 原価レビューと原価差異管理
- 8-3 目標原価/見積原価/計画原価の3つをフォロー

#### 9. 改革4: プロダクト損益を使った振り返り

- 9-1 脱やりっぱなし。原価の振り返りの重要性
- 9-2 プロダクト損益で適切な評価を行う
- 9-3 原価基準や標準づくりが重要

#### 10. 改革5: PLMシステムと原価管理

- 10-1 E-BOMを活用した原価見積
- 10-2 Cost-BOMを活用した予算管理
- 10-3 PLMシステムが原価レベルを激変させる

#### 【LIVE配信セミナーとは？】

- ・本セミナーは「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。「ミーティング用Zoomクライアント」をダウンロードするか、Web ブラウザから参加するかの2種類がございます。ZOOM WEBセミナーのはじめかた(<http://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。
- ・お申込み後、受理のご連絡メールをさせていただきます。一部メールが通常セミナー形式(受講券、請求書、会場の地図)になっておりますが、LIVE配信のみのセミナーです。
- ・お申込み後、接続テスト用のURL(<https://zoom.us/test>)から「ミーティングテストに参加」を押していただき動作確認をお願いします。
- ・後日、別途視聴用のURLをメールにてご連絡申し上げます。セミナー開催日時の10分前に、視聴サイトにログインしていただき、ご視聴ください。
- ・セミナー資料は郵送にて前日までには、お送りいたします。タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
- ・ご質問については、オープンにできるご質問をチャットにご記入ください。個別相談(他社に知られたくない)のご質問は後日メールにて講師と直接お願いします。

### 『原価の見える化【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住 所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール ☐ 郵送

#### ● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>